

町民の皆様 お一人おひとりに

10月からマイナンバー制度(社会保障・税番号制度)が始まりました

マイナンバー(個人番号)が記載された 通知カードが届きます

(赤ちゃんからご高齢の方まで 住民票のある方すべてが対象です)
*住民票の住所へ、世帯主あてに簡易書留で郵送されます。



皆さんへのお願い

- 届いた通知カードは、大切な物と一緒に保管してください。(再交付には手数料500円が必要です)
- 自身のマイナンバーを他人にもらさないでください。
 - カードに記載されているマイナンバーを、他人が勝手にコピーできません。
- マイナンバーを語る特殊詐欺にご注意を！
 - 電話で、マイナンバーや家族構成や預金通帳の口座番号などをたずねられることはありません。

お問い合わせ先

役場総務課 有線 31-5224 NTT 54-2505

平成28年1月から
役場の手続きなどで使います。
皆さん、カードを無くさないでくださいね！



◆◆平成27年度宝くじコミュニティ助成事業◆◆ コミュニティ活動に必要な備品が整備されました

宝くじコミュニティ助成事業は、宝くじの収入を財源とし、地域のコミュニティの健全な発展を図るためのものです。(助)自治総合センターが宝くじの社会貢献事業の一環として行っています。

今年度、助成事業により三成地区福祉振興協議会にアルミステージが導入されました。

なお、コミュニティ助成事業には、次の事業があります。

- ①一般コミュニティ助成事業
- ②コミュニティセンター助成事業
- ③地域防災組織育成助成事業
- ④青少年健全育成助成事業
- ⑤地域の芸術環境づくり助成事業
- ⑥地域国際化推進助成事業
- ⑦活力ある地域づくり助成事業



▲導入したアルミステージ
(三成地区福祉振興協議会)

【お問い合わせ先】

役場 総務課総務グループ
有線：31-5224
NTT：54-2505

9/13 奥出雲町100人未来会議を開催

奥出雲町のこれからの参加者全員で考える「奥出雲町100人未来会議」が、9月13日にカルチャープラザ仁多で開催されました。

この日は、100人を超える約170名の参加があり、町の将来展望の説明、横田高校の生徒や若もん未来会議の発表などがありました。

その後に行われたワールドカフェでは、「奥出雲町だから実感できる幸せってなんだろう？」をテーマに、年代や性別を越えてそれぞれが一人の町民として意見を交換しました。奥出雲町のためにできることを熱心に話し合い、参加者からは「参加してよかった」との声が多く聞かれました。



▲100人未来会議の様子

10/2 鈴木副院長 全国国民健康保険 診療施設協議会会長表彰を受賞

奥出雲病院の鈴木賢二副院長が全国国民健康保険診療施設協議会会長表彰を受賞することとなり、その表彰式が10月2日、埼玉県さいたま市にて開催された第55回全国国保地域医療学会の席上で行われました。



鈴木賢二副院長

鈴木副院長は、平成7年4月に奥出雲病院に着任以来、病院を身近なものにすべく、広く住民が参加できる病院祭の開催や、更には「奥出雲町地域医療研究会」を主催し、住民や諸団体との連携を積極的に取り込まれました。また、院内のがん患者のため「がんサロン(暖々)」立ち上げに尽力され、がん対策に積極的に取り組むなど、この度その功績が認められての受賞となりました。

おめでとうございます。

9/11 平成27年度奥出雲町肉用種牛共進会

9月11日、平成27年度奥出雲町肉用種牛共進会が仁多中央家畜集会所(亀高)で開催されました。特選賞及び団体賞の結果は次のとおりです。

首席	はるか2	吉川重義(横田)
2席	かつひら6	奥出雲町農業公社 繁殖育成センター
3席	はなゆき	勝田律江(阿井)
4席	れん	森山邦治(馬木)
5席	はなさつき7	三島智幸(八川)
6席	ひかり6	源 正晴(三沢)
7席	たかひら	奥出雲町農業公社 繁殖育成センター
団体優勝	横田支部	



首席に輝いた「はるか2」号

9/24 JALしまねがカーブミラーを寄贈

秋の交通安全運動に併せ、JAしまねと共済連島根から奥出雲町にカーブミラー10基12面が寄贈されました。

9月24日、JAしまね雲南地区本部の竹下克美副本部長が役場を訪れ、「人命保護と被害の軽減を願う」趣意書と目録を勝田町長に手渡しました。

今回寄贈されたカーブミラーは、各地区からの要望などを考慮して順次設置し、交通事故防止に役立てられます。



▲趣意書と目録を手渡す竹下副本部長(右)